

令和6年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌やゲームで単語や表現を楽しみながら覚えている様子が見られる。
- ・リスニング力が定着してきており、大まかな内容を捉えることができる。
- ・積極的にALTとコミュニケーションをとろうとしたりする意欲が見られる。
- ・スペルは正確ではないが、積極的に英単語を書きとろうとする意欲が見られる。

(2) 課題

- ・大文字、小文字の区別や英単語の習得に課題があるため、単語テストなどで定着を図る。
- ・英語カフェなど授業以外にも英語に触れる場を活用することで、日常的に英語と関わることができるようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大文字と小文字の区別が定着していない児童も見られるので、繰り返しアルファベットに触れる場を増やす。 ・新しく覚えた文や単語を定着させるために、リーディングの学習だけでなく、ライティングの学習時間を増やし、書く力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語順やアクセント、日本と外国の生活習慣や行事など、外国と日本の共通点や違いを知る機会を増やし、言語や文化について体験的に理解を深められるようにする。 ・プレゼンテーションの機会を増やし、習った英単語や表現を使い、自分の考えを書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した英語表現を使ったALTや友達とのコミュニケーション活動を積み重ねることで、英語で話すことへの抵抗感を減らしていく。 ・英語を用いたゲームを活動に取り入れ、英語と慣れ親しむ時間を増やす。